

仙台青葉学院短期大学 履修規程

第1章 総則

(趣旨)

第1条 この規程は、仙台青葉学院短期大学学則（以下「学則」という。）第22条第4項、第24条第2項及び第36条第2項の規定により、授業科目の履修方法等に関し必要な事項を定めるものとする。

(授業科目等)

第2条 各授業科目の単位数及び必修・選択の別等は、別表第一のとおりとする。

(単位修得)

第3条 単位を修得するには、各授業科目所定の時間数を履修し、成績評価において合格の判定を受けなければならない。

(履修の登録)

第4条 履修する授業科目は、前期及び後期の所定の期日までに登録を行わなければならない。

- 2 登録を行わなかった授業科目は、履修することができない。
- 3 変更登録期間後の変更は認めない。

(履修登録の制限)

第5条 次に掲げる授業科目は、履修登録をすることができない。

- (1) 在学年次より上級年次に配当されている授業科目
 - (2) 既に単位を修得した授業科目
 - (3) 同一時限の重複する授業科目
- 2 履修登録の上限については、学則第22条第2項及び第3項の規定に基づき、別に定める。

(試験)

第6条 試験は、定期試験及び随時試験とする。

- 2 定期試験は、その授業の開講時期の末に期間を定めて行う。
- 3 随時試験は、規定の授業回数終了後、定期試験の期間以外に行う。

4 第1項の試験は、筆記試験、口述試験、実技試験、学修成果物による試験又は論文試験により行う。

5 次の各号に該当する授業科目は、試験を受験することができない。

(1) 当該授業科目の履修登録をしていない場合

(2) 当該授業科目の一般欠席時間数が総時間数の3分の1を超える場合

(3) 当該授業科目の一般欠席時間数と公認欠席時間数を合計した時間数が、総時間数の2分の1を超える場合

ただし、こども学科の保育士資格及び教育職員免許状（幼稚園教諭二種免許状）取得に関する授業科目については、当該授業科目の一般欠席時間数と公認欠席時間数を合計した時間数が、総時間数の3分の1を超える場合

（成績評価等）

第7条 成績は、前条の試験のほか、授業時間内に行う臨時試験、課題レポート、発表、討論、提出作品、授業への参加態度等（以下「臨時試験等」という。）を勘案して評価する。

2 成績評価方法は、シラバスにあらかじめ示す。

3 成績評価は、下表のとおり、秀（AA）、優（A）、良（B）及び可（C）を合格とし、不可（D）、評価不能（E）を不合格とする。また、それぞれの成績評価に対してグレード・ポイント（以下「GP」という。）を付与する。

判定	成績評価	点数	GP
合格 (単位認定)	秀 (AA)	90点以上	4
	優 (A)	80点以上90点未満	3
	良 (B)	70点以上80点未満	2
	可 (C)	60点以上70点未満	1
不合格 (単位認定不可)	不可 (D)	60点未満	0
	評価不能 (E)	(1) 前条第5項に該当する科目 (2) 資格取得に係る実習で、各学科が授業科目ごとに定める時間数を満たさない場合	0

なお、第9条の再試験で合格の場合の成績評価は、可（C）、GPは1ポイントとする。

4 履修登録した各授業科目の単位数に当該授業科目のGPを乗じた値を、履修登録した全授業科目について総計し、その値を履修登録した授業科目の総単位数で除して算出する平均値をグレード・ポイント・アベレージ（以下「GPA」という。）という。GPAの活用方法等については、別に定める。

5 成績評価及びGPAは、別に定める方法により通知する。

(追試験)

第8条 次項第1号又は第2号に該当する事由で欠席した学生は、追試験願を提出することで追試験を行う。その他の事由により、試験を受験することができなかった学生に対しては、追試験の願い出を仙台青葉学院大学・仙台青葉学院短期大学教務委員会（以下「教務委員会」という。）で審議し、教授会に諮って、受験を認めた場合に限り追試験を行う。

2 前項の規定により、追試験の受験を希望する学生は、所定の期日までに追試験願を提出しなければならない。この場合、次に掲げるいずれかの欠席事由により、信憑書類を添付しなければならない。

(1) 傷病の場合

(2) 公認欠席規程第3条第2号、第4号から第6号までに該当する場合

(3) その他

3 追試験の実施日時は、担当教員が定める。

4 追試験は、当該受験許可が与えられた学生に対し、1回のみ実施する。

5 追試験における点数は、原則として試験に準ずる。

(再試験)

第9条 成績評価が不可(D)となった学生に対しては、担当教員が認めた科目に限り、再試験を行う。

2 試験を欠席し、前条の事由による追試験が認められなかった学生に対しては、教務委員会学科分科会及び教授会が認めた場合に限り再試験受験を認める。

3 当該受験許可が与えられた学生は、所定の期日までに1科目当たり2,000円の受験料とともに再試験願を提出しなければならない。

4 再試験の実施日時は、担当教員が定める。

5 再試験は、当該受験許可が与えられた学生に対し、原則として1回のみ実施する。

6 再試験結果に基づいた成績評価は、取得した点数に関わらず60点(可(C))を上限とする。

(不正行為)

第10条 試験(追試験を含む。)において不正行為を行った学生に対しては、学則第42条により懲戒するほか、試験の受験及び成績の評価は、次のとおりとする。

(1) 不正行為に係る受験科目の評価を不可(D)とし、再試験は認めない。

(2) 当該学期期間中に成績評価する授業科目の評価を全て不可(D)とし、再試験は認めない。ただし、当該不正行為に係る科目以外の学外で実施される実習科目及びその実習指導に関する科目で、各学科で定めるものは除外する。

2 再試験における不正行為も前項に準じる。

- 3 成績評価に係る臨時試験等において不正行為があった場合は、その都度教務委員会で審議する。
- 4 前3項に規定するもののほか、試験において不正行為を行った学生に対する処分等について必要な事項は、別に定める。

(卒業)

第11条 学則第35条の定めのとおり、卒業するためには、修業年限以上在学し、所定の単位数を修得しなければならない。

- 2 前項の卒業の時期は、学年末とする。ただし、卒業延期になった学生が前期に卒業に必要な単位を修得した場合は、学年末を待たず前期末（9月）の卒業を認める。

第2章 看護学科

(授業科目等)

第12条 第2条に規定する授業科目の単位を、次のとおり修得しなければならない。

- (1) 教養教育分野 必修14単位
- (2) 専門教育分野 必修89単位

(履修要件)

第13条 次の授業科目を履修する学生は、当該各号の要件を満たしていなければならない。

- (1) 「基礎看護学実習Ⅱ」
「看護学概論」, 「看護倫理」, 「基礎看護技術Ⅰ」, 「基礎看護技術Ⅱ」, 「基礎看護技術Ⅲ」及び「基礎看護学実習Ⅰ」の単位を修得していること。
- (2) 臨地実習の「統合実習」
「地域・在宅看護論実習Ⅱ」「成人看護学実習」「老年看護学実習」「小児看護学実習」「母性看護学実習」「精神看護学実習」の単位を修得していること。

(進級)

第14条 在学年次に配当されている全ての必修科目の単位を修得した場合に、在学年次の1年次上の学年に進級することができる。

(留年)

第15条 在学年次に配当されている全ての科目の単位を修得できなかった場合は、留年となる。

- 2 学則第6条第1項ただし書の規定により、学長が特別な事情であると認める場合を除き、同一学年に2年を超えて在学することはできない。

第3章 ビジネスキャリア学科

(授業科目等)

第16条 第2条に規定する授業科目の単位を、次のとおり修得しなければならない。

- (1) 教養教育分野 必修7単位及び選択2単位以上
- (2) 専門教育分野及び演習分野 必修24単位及び選択29単位以上

(ゼミナールの履修要件)

第17条 ゼミナール（Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ）を履修する学生は、所属を希望するゼミナールで定められた所定の要件を満たす必要がある。

第4章 リハビリテーション学科

(授業科目等)

第18条 第2条に規定する授業科目の単位を、次のとおり修得しなければならない。

- (1) 教養教育分野 必修14単位
- (2) 専門教育分野 必修90単位以上

(臨床実習の履修要件)

第19条 原則として、各実習区分の臨床実習開始前に行われる必修科目試験を全て合格していることを履修要件とする。ただし、「臨床実習Ⅰ（体験実習）」については、この限りでない。

(進級)

第20条 在学年次に配当されている全ての必修科目の単位を修得した場合に、在学年次の1年次上の学年に進級することができる。

(留年)

第21条 在学年次に配当されている全ての必修科目の単位を修得できなかった場合は、留年となる。

- 2 学則第6条第1項ただし書の規定により、学長が特別な事情があると認める場合を除き、同一学年に2年を超えて在学することはできない。

第5章 こども学科

(授業科目等)

第22条 第2条に規定する授業科目の単位を、必修37単位及び選択25単位以上修得し、かつ、次のとおり修得しなければならない。

(1) 教養教育分野		12単位以上
(2) 専門教育分野	幼児教育の基礎	4 単位以上
	基礎技能	2 単位以上
	教育及び保育の本質	6 単位以上
	教育及び保育の制度	2 単位以上
	教育及び保育の対象理解	3 単位以上
	教育及び保育の計画と方法	12単位以上
	ゼミナール	4 単位

(実習の履修要件)

第23条 実習科目を履修する学生は、次の要件を満たすものとする。

- (1) 所定の科目の単位を修得した者。所定の要件については別に定める。ただし、未修得者については、当該科目の成績が一定以上である場合、学科の判断で実習の履修を認めることがある。
- (2) 所定の実習指導科目を受講すること。なお、実習指導を受講する際の内規については別に定める。

(保育士資格の取得)

第24条 保育士資格を取得しようとする学生は、第11条及び第22条の要件を満たすほか、別表第二に定める保育士資格に関する授業科目を履修し、その単位を修得しなければならない。

(教育職員免許状の取得)

第25条 教育職員免許状（幼稚園教諭二種免許状）を取得しようとする学生は、第11条及び第22条の要件を満たすほか、別表第三に定める幼稚園教諭免許状取得に関する授業科目を履修し、その単位を修得しなければならない。

第6章 歯科衛生学科

(授業科目等)

第26条 第2条に規定する授業科目の単位を、次のとおり修得し、かつ、選択科目を7単位以上修得しなければならない。

- (1) 教養教育分野 必修10単位

(2) 専門教育分野 必修83単位

(進級)

第27条 在学年次に配当されている全ての必修科目の単位を修得した場合に、在学年次の1年次上の学年に進級することができる。

(留年)

第28条 在学年次に配当されている全ての必修科目の単位を修得できなかった場合は、留年となる。

2 学則第6条第1項ただし書の規定により、学長が特別な事情であると認める場合を除き、同一学年に2年を超えて在学することはできない。

第7章 栄養学科

(授業科目等)

第29条 第2条に規定する授業科目の単位を、次のとおり修得しなければならない。

- (1) 教養教育分野 必修8単位及び選択2単位以上
- (2) 専門教育分野 必修54単位

(履修要件)

第30条 次の授業科目を履修する学生は、当該各号の要件を満たしていなければならない。

- (1) 「校外実習」
1年次の全ての専門教育分野の単位を修得していること。ただし、不合格科目が5科目未満の場合は、学科の判断により、履修を認める場合がある。
- (2) 「栄養総合演習」
「校外実習」の履修が認められていること。

(栄養士資格の取得)

第31条 栄養士資格を取得するには、第11条及び第29条の要件を満たすほか、別表第四に定める栄養士資格に関する授業科目を履修し、その単位を修得しなければならない。

第8章 観光ビジネス学科

(授業科目等)

第32条 第2条に規定する授業科目の単位を、必修42単位及び選択20単位以上修得しなければならない。

第33条 削除

第9章 現代英語学科

(授業科目等)

第34条 第2条に規定する授業科目の単位を、必修38単位及び選択24単位以上修得しなければならない。

第10章 言語聴覚学科

(授業科目等)

第35条 第2条に規定する授業科目の単位を、次のとおり修得しなければならない。

- (1) 教養教育分野 必修15単位
- (2) 専門教育分野 必修86単位及び選択2単位以上

(臨床実習の履修要件)

第36条 次の授業科目を履修する学生は、当該各号の要件を満たしていなければならない。

- (1) 「臨床実習Ⅰ（見学実習）」
「学習の基礎」, 「医療概論」の単位を修得していること。
- (2) 「臨床実習Ⅱ（評価実習）」
「言語聴覚障害学の基礎」, 専門展開科目（「臨床実習」以外）から8科目以上の単位を修得していること。また, 「臨床実習Ⅰ（見学実習）」の単位を修得していること。
- (3) 「臨床実習Ⅲ（総合実習前期）」「臨床実習Ⅳ（総合実習後期）」
専門展開科目の各区分（「臨床実習」以外）から次のとおり単位を修得していること。
「言語聴覚療法管理学」, 「地域言語聴覚療法学」の各区分から1科目以上, 「失語症・高次脳機能障害学」の区分から2科目以上, 「言語発達障害学」, 「発声発語・摂食嚥下障害学」, 「聴覚障害学」の各区分から3科目以上の単位を修得していること。また, 「臨床実習Ⅱ（評価実習）」の単位を修得していること。

2 前項第2号及び第3号の規定に関わらず, 臨床実習科目の履修要件を満たさない場合であっても, 学科の判断により, 臨床実習科目の履修を認める場合がある。

第11章 救急救命学科

(授業科目等)

第37条 第2条に規定する授業科目の単位を、次のとおり修得しなければならない。

- (1) 教養教育分野 必修8単位
- (2) 専門教育分野 必修62単位

(履修要件)

第38条 次の授業科目を履修する学生は、当該各号の要件を満たしていなければならない。

(1)「救急救命シミュレーションⅡ」

「救急救命シミュレーションⅠ」の単位を修得していること。

(2)「救急救命シミュレーションⅢ」

「救急救命シミュレーションⅡ」の単位を修得していること。

(3)「救急救命シミュレーションⅣ」

「救急救命シミュレーションⅢ」の単位を修得していること。

(4)「臨床実習」「救急用自動車同乗実習」

専門教育分野に配置される1年次科目23科目の単位を全て修得していること。

第12章 改正

(改正)

第39条 この規程の改正は、教務委員会の議を経て、運営協議会の承認を得、学長が決定する。

附 則

1 この規程は平成21年4月1日から施行する。

附 則

1 この規程の変更については、平成23年4月1日から施行する。

2 第11条の変更については、平成23年度入学生から適用し、在校生については、なお従前のとおりとする。

附 則

1 この規程の変更は、平成24年4月1日から施行する。

2 改正後の第15条の規定は、平成23年度入学者から適用し、それ以前に入学した者については、なお従前のとおりとする。

3 この規程の変更に伴い、試験規程、追試験および再試験実施細則を廃止する。

附 則

この規程は、平成25年4月1日から施行する。ただし、別表第一、第15条及び第16条の規定については、平成25年度入学者から適用し、平成24年度以前の入学者については、なお従前のとおりとする。

附 則

この規程は、平成25年4月1日から施行する。ただし、第14条第2項及び第20条第2項の規定については、平成25年度入学者から適用し、平成24年度以前の入学者については、なお従前のとおりとする。

附 則

この規程は、平成26年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成26年6月25日から施行し、平成26年4月1日から適用する。

附 則

この規程は、平成27年4月1日から施行する。ただし、第14条第2項、第20条第2項及び第28条第2項の規定については、平成25年度入学者から適用し、平成24年度以前の入学者は、なお従前のとおりとする。

附 則

この規程は、平成28年4月1日から施行する。ただし、第6条、第15条、第17条の規定については、平成28年度入学者から適用し、平成27年度以前の入学者は、なお従前のとおりとする。

附 則

この規程は、平成28年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成29年4月1日から施行する。ただし、第15条及び第29条の規定については、平成29年度入学者から適用し、平成28年度以前の入学者は、なお従前のとおりとする。

附 則

この規程は、平成30年4月1日から施行する。ただし、第32条の規定については、平成30年度入学者から適用し、平成29年度以前の入学者は、なお従前のとおりとする。

附 則

- 1 この規程は、平成30年4月1日から施行する。

2 改正後の第 18 条の規定は、平成 30 年度入学者から適用し、平成 29 年度以前の入学者及び同年度以前の入学者の属する年次に転入学又は再入学する者については、なお従前のとおりとする。

附 則

この規程は、平成 31 年 4 月 1 日から施行する。ただし、第 26 条並びに別表第一及び別表第四の改正については、平成 31 年度入学者から適用し、平成 30 年度以前の入学者については、なお従前のとおりとする。

附 則

この規程は、平成 31 年 4 月 1 日から施行する。ただし、第 16 条、第 22 条及び第 32 条並びに別表第一から別表第三までの改正については、平成 31 年度入学者から適用し、平成 30 年度以前の入学者については、なお従前のとおりとする。

附 則

この規程は、令和 2 年 4 月 1 日から施行する。ただし、第 18 条及び別表第一の改正については、令和 2 年度入学者から適用し、平成 31 年度以前の入学者については、なお従前のとおりとする。

附 則

この規程は、令和 2 年 4 月 1 日から施行する。ただし、第 19 条の改正については、令和 2 年度入学者から適用し、平成 31 年度以前の入学者については、なお従前のとおりとする。

附 則

この規程は、令和 3 年 4 月 1 日から施行する。ただし、第 16 条、第 17 条、第 32 条から第 34 条まで及び別表第一の改正については、令和 3 年度入学者から適用し、令和 2 年度以前の入学者については、なお従前のとおりとする。

附 則

この規程は、令和 3 年 4 月 1 日から施行する。ただし、在学生については、従前のとおりとする。

附 則

この規程は、令和 4 年 4 月 1 日から施行する。ただし、在学生については、従前のとおりとする。

附 則

この規程は、令和4年4月1日から施行し、改正後の規定は、令和4年度入学者から適用し、令和3年度以前の入学者については、なお従前のとおりとする。

附 則

この規程は、令和5年4月1日から施行する。ただし、第32条及び別表第一（救急救命学科に係る部分を除く。）の改正については、令和5年度入学者から適用し、令和4年度以前の入学者については、なお従前のとおりとする。

附 則

この規程は、令和6年4月1日から施行し、改正後の規定は、令和6年度入学者から適用し、令和5年度以前の入学者については、なお従前のとおりとする。

附 則

この規程は、令和6年4月1日から施行し、改正後の規定は、令和6年度入学者から適用し、令和5年度以前の入学者については、なお従前のとおりとする。

附 則

この規程は、令和6年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、令和7年4月1日から施行し、改正後の規定は、令和7年度入学生から適用し、令和6年度以前の入学者については、なお従前のとおりとする。

附 則

この規程は、令和7年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、令和7年10月1日から施行する。

履修規程別表第一

(看護学科)

科目区分		授業科目の名称	単位数			授業形態				
			必修	選択	自由	講義	演習	実習		
教養教育分野	人間と文化	日本語表現法	1				○			
		英語	1				○			
		哲学入門	1			○				
	人間と社会	現代の社会	2			○				
		法律入門	2			○				
		生涯学習論	1			○				
		心理学概論	1			○				
		家族社会学	1			○				
	人間と科学	情報処理	1				○			
		自然科学入門	1			○				
数理リテラシー		1			○					
健康スポーツ科学		1				○				
教養教育分野 計			14			—				
専門教育分野	専門基礎分野	人体の構造と機能	人体構造と機能Ⅰ	1			○			
			人体構造と機能Ⅱ	1			○			
			人体構造と機能Ⅲ	1			○			
			人体構造と機能Ⅳ	1			○			
			生化学	1			○			
		疾病の成り立ちと回復の促進	微生物学	1			○			
			栄養学	1			○			
			病理学	1			○			
			病態治療学Ⅰ（検査・治療）	1			○			
			病態治療学Ⅱ（循環器）	1			○			
			病態治療学Ⅲ（消化器）	1			○			
			病態治療学Ⅳ（内分泌、泌尿・生殖器）	1			○			
			病態治療学Ⅴ（運動器、中枢・末梢神経）	1			○			
			病態治療学Ⅵ（血液・造血器・免疫）	1			○			
		健康支援と社会保障制度	病態治療学Ⅶ（呼吸器、感覚器）	1			○			
			看護薬理学	1			○			
			生命科学と医療倫理	1			○			
			人間関係論	1			○			
			保健行動学	1			○			
			公衆衛生学	1			○			
		専門基礎分野 計			22			—		
		専門分野	基礎看護学	看護学概論	1			○		
				看護倫理	1			○		
	基礎看護技術Ⅰ			1				○		
	基礎看護技術Ⅱ			2				○		
	基礎看護技術Ⅲ			1				○		
	基礎看護技術Ⅳ			2				○		
	基礎看護学 計			8			—			
	地域・在宅看護論		地域・在宅看護概論Ⅰ	1			○			
			地域・在宅看護援助論Ⅰ	2				○		
			地域・在宅看護概論Ⅱ	1			○			
			地域・在宅看護援助論Ⅱ	2				○		
			地域・在宅看護援助論 計			6			—	
	領域横断看護		看護展開論Ⅰ	1			○			
			看護展開論Ⅱ	2				○		
			看護展開論Ⅲ	2				○		
			健康状態別看護Ⅰ	1			○			
			健康状態別看護Ⅱ	2				○		
			健康状態別看護Ⅲ	1			○			
			領域横断看護 計			9			—	
	成人看護学		成人看護学概論	1			○			
			成人看護学援助論Ⅰ	2				○		
			成人看護学援助論Ⅱ	1				○		
			成人看護学 計			4			—	
	老年看護学		老年看護学概論	1			○			
			老年看護学援助論Ⅰ	1			○			
			老年看護学援助論Ⅱ	1				○		
	老年看護学 計			3			—			
	小児看護学		小児看護学概論	1			○			
			小児看護学援助論Ⅰ	1			○			
			小児看護学援助論Ⅱ	1				○		
			小児看護学 計			3			—	
	母性看護学		母性看護学概論	1			○			
			母性看護学援助論Ⅰ	1			○			
			母性看護学援助論Ⅱ	1				○		
			母性看護学 計			3			—	
	精神看護学		精神看護学概論	1			○			
精神看護学援助論Ⅰ			1			○				
精神看護学援助論Ⅱ			1			○				
精神看護学 計			3			—				
看護の統合と実践	医療安全管理論		1			○				
	災害看護		1				○			
	看護管理論・国際看護		1			○				
	看護研究Ⅰ		1			○				
	看護研究Ⅱ		1				○			
	看護の統合と実践 計			5			—			
臨地実習	基礎看護学実習Ⅰ		1					○		
	基礎看護学実習Ⅱ		1					○		
	地域・在宅看護論実習Ⅰ	1					○			
	地域・在宅看護論実習Ⅱ	2					○			
	領域横断看護実習	3					○			
	成人看護学実習	3					○			
	老年看護学実習	3					○			
	小児看護学実習	2					○			
	母性看護学実習	2					○			
	精神看護学実習	2					○			
	統合実習	3					○			
臨地実習 計			23			—				
専門分野 計			67			—				
専門教育分野			89			—				
総計			103			—				

履修規程別表第一

(ビジネスキャリア学科)

科目区分		授業科目の名称	単位数			授業形態				
			必修	選択	自由	講義	演習	実習		
教養教育分野	人間と文化	日本語表現法	1				○			
		英語	1				○			
		中国語		2		○				
		韓国語		2		○				
	人間と社会	法律入門	2			○				
		現代の社会	2			○				
	人間と科学	情報処理	1				○			
スポーツ科学			2			○				
教養教育分野 計			7	6		－				
専門教育分野	基礎科目	人間関係論		2		○				
		心理学		2		○				
		ホスピタリティ論		2		○				
		プレゼンテーション演習	2				○			
		情報処理応用演習	2				○			
		地域連携概論		2		○				
		ビジネスマナー	2			○				
		民法		2		○				
	基幹科目	金融リテラシー入門	2			○				
		経済学	2			○				
		会計学	2			○				
		経営学	2			○				
		現代企業論	2			○				
		ビジネス実務総論	2			○				
		ビジネス法務入門		2		○				
		税金入門		2		○				
	展開科目	社会保障論		2		○				
		ビジネス文書実務		2		○				
		秘書実務Ⅰ		2			○			
		秘書実務Ⅱ		2			○			
		情報テクノロジー		2		○				
		DX経営論		2		○				
		データサイエンス入門		2		○				
		情報処理実務		2			○			
		メディアデザイン論		2		○				
		広告デザイン演習		2			○			
		メディアコンテンツ演習		2			○			
		基礎簿記		2		○				
		上級簿記Ⅰ		2		○				
		上級簿記Ⅱ		2		○				
		簿記演習Ⅰ		2			○			
		簿記演習Ⅱ		2			○			
		医療事務入門		2		○				
		診療報酬請求演習Ⅰ		2			○			
		診療報酬請求演習Ⅱ		2			○			
		レセコン演習		2			○			
		コミュニケーション心理		2		○				
		ビジネス心理		2		○				
		ビジネスコミュニケーション		2		○				
		ビューティビジネス論		2		○				
		マーケティング		2		○				
		広告論		2		○				
		流通論Ⅰ		2		○				
		流通論Ⅱ		2		○				
		スポーツビジネス論		2		○				
		公務員対策Ⅰ		2		○				
		公務員対策Ⅱ		2		○				
		公務員対策Ⅲ		2		○				
	公務員対策演習Ⅰ		2			○				
	公務員対策演習Ⅱ		2			○				
専門教育分野 計			18	82		－				
演習分野	演習科目	インターンシップと地域企業研究		1			○			
		基礎キャリア形成	1				○			
		数理基礎Ⅰ	1				○			
		数理基礎Ⅱ	1				○			
		実践キャリア形成Ⅰ	1				○			
		実践キャリア形成Ⅱ		1			○			
		社会人基礎力演習Ⅰ	1				○			
		社会人基礎力演習Ⅱ	1				○			
		ゼミナールⅠ		1			○			
		ゼミナールⅡ		1			○			
		ゼミナールⅢ		1			○			
		演習分野 計			6	5		－		
		総計			31	93		－		

履修規程別表第一

(リハビリテーション学科 理学療法専攻)

科目区分			授業科目の名称	単位数			授業形態		
				必修	選択	自由	講義	演習	実習
教養教育分野	人間と文化	日本語表現法	1			○			
		コミュニケーション論	1			○			
		英語Ⅰ	1				○		
		英語Ⅱ	1			○			
		歴史と文化	1			○			
	人間と社会	大学生活論	1			○			
		暮らしの中の法律	1			○			
		現代の社会	1			○			
		心理学概論	1			○			
	人間と科学	情報処理	1				○		
		生物学	1			○			
物理学		1			○				
健康スポーツ科学		2			○				
教養教育分野 計			14				—		
専門教育分野	専門支持科目	人体の構造・機能と発達	解剖学	2			○		
			解剖学演習	1				○	
			解剖学実習	1					○
			生理学Ⅰ（神経・運動・感覚）	2			○		
			生理学Ⅱ（内臓・代謝・血液）	1				○	
			生理学実習	1					○
			運動学	2			○		
			運動学演習	1				○	
			運動学実習	1					○
			人間発達学	1			○		
		疾病の成り立ちと回復	病理学	1			○		
			医学概論	1			○		
			内科学	1			○		
			神経学	2			○		
			臨床医学特論	1			○		
			小児科学	1			○		
			整形外科総論	1			○		
			整形外科各論	1			○		
			精神医学総論	1			○		
	老年学	1			○				
	リハビリテーション栄養学	臨床心理学	1			○			
		リハビリテーション栄養学	1			○			
	福祉保健・社会福祉	救急救命医学	1			○			
		公衆衛生学	1			○			
	社会福祉概論	社会福祉概論	1			○			
		医療関連法規	1			○			
	リハビリテーション概論	リハビリテーション概論	1			○			
専門支持科目 計			31				—		
専門展開科目	学基礎療法	理学療法学概論	1			○			
		運動療法基礎理論	1			○			
		理学療法学研究法	1			○			
		基礎理学療法学 計			3			—	
		理学療法管理学	2			○			
		理学療法管理学 計			2			—	
		理学療法評価学	基礎理学療法評価学概論	1				○	
			基礎理学療法評価学実習	1					○
			骨関節障害理学療法評価学実習	1					○
			神経障害理学療法評価学実習	1					○
	臨床理学療法評価学演習		2				○		
	理学療法評価学 計			6			—		
	系統別理学療法学	骨関節障害理学療法学	2			○			
		骨関節障害理学療法学演習	2				○		
		神経障害理学療法学	2			○			
		神経障害理学療法学演習	2				○		
		内部障害理学療法学	2			○			
		内部障害理学療法学演習	2				○		
		神経筋疾患理学療法学	1				○		
		発達障害理学療法学	1			○			
		物理療法学	1			○			
		物理療法学演習	1				○		
		義肢装具学	1			○			
		義肢装具学演習	1				○		
		日常生活活動学	1			○			
		日常生活活動学演習	1				○		
		理学療法学特論	1				○		
系統別理学療法学 計			21			—			
臨床実習	臨床実習Ⅰ（体験実習）	1					○		
	臨床実習Ⅱ（評価実習）	4					○		
	臨床実習Ⅲ（総合実習）	7					○		
	臨床実習Ⅳ（総合実習）	7					○		
	地域理学療法実習	1					○		
	臨床実習 計			20			—		
学地域療域法理	地域理学療法学	1			○				
	地域理学療法学演習	1				○			
	保健医療福祉連携論	1				○			
	地域理学療法 計			3			—		
専門展開科目 計			55				—		
特別演習	専門支持科目特別演習	2				○			
	専門展開科目特別演習	2				○			
	特別演習 計			4			—		
専門教育分野 計			90				—		
総計			104				—		

履修規程別表第一

(リハビリテーション学科 作業療法学専攻)

科目区分			授業科目の名称	単位数			授業形態			
				必修	選択	自由	講義	演習	実習	
教養教育分野	人間と文化	日本語表現法	1				○			
		コミュニケーション論	1				○			
		英語Ⅰ	1					○		
		英語Ⅱ	1				○			
		歴史と文化	1				○			
	人間と社会	大学生生活論	1				○			
		暮らしの中の法律	1				○			
		現代の社会	1				○			
		心理学概論	1				○			
	人間と科学	情報処理	1					○		
		生物学	1				○			
		物理学	1					○		
		健康スポーツ科学	2				○			
	教養教育分野 計			14					—	
専門教育分野	専門支持科目	人体の構造・機能と発達	解剖学	2				○		
			解剖学演習	1					○	
			解剖学実習	1						○
			生理学Ⅰ（神経・運動・感覚）	2				○		
			生理学Ⅱ（内臓・代謝・血液）	1					○	
			生理学実習	1						○
			運動学	2				○		
			運動学演習	1					○	
			運動学実習	1						○
			人間発達学	1				○		
		疾病の成り立ちと回復	病理学	1				○		
			医学概論	1				○		
			内科学	1				○		
			神経学	2				○		
			臨床医学特論	1				○		
			小児科学	1				○		
			整形外科総論	1				○		
			精神医学総論	1				○		
			精神医学各論	1				○		
			老年学	1				○		
			臨床心理学	1				○		
		リハビリテーション栄養学	1				○			
		救急救命医学	1				○			
		福祉・保健・リハビリテーション	公衆衛生学	1				○		
			社会福祉概論	1				○		
			医療関連法規	1				○		
			リハビリテーション概論	1				○		
		専門支持科目 計			31					—
	専門展開科目	基礎作業療法学	作業療法概論	1				○		
			作業科学	1				○		
			作業療法理論	1				○		
			基礎作業学演習	2					○	
			作業療法研究法	1				○		
		基礎作業療法学 計			6					—
作業療法管理学		作業療法管理学	1				○			
		作業療法管理学演習	1					○		
作業療法管理学 計			2					—		
作業療法評価学		作業療法評価学原論	1				○			
		身体機能作業療法評価学実習	1						○	
		精神機能作業療法評価学実習	1						○	
		疾患別作業療法評価学実習Ⅰ	1						○	
		疾患別作業療法評価学実習Ⅱ	1						○	
作業療法評価学 計			5					—		
作業療法治療学		作業療法治療学	1				○			
		作業療法治療学演習	1					○		
		身体機能作業療法学実習	1						○	
		精神機能作業療法学実習	1						○	
		病期別作業療法学実習Ⅰ	1						○	
		病期別作業療法学実習Ⅱ	1						○	
		病期別作業療法学実習Ⅲ	1						○	
		作業療法基礎演習	1					○		
		作業療法応用演習	1					○		
		作業療法総合演習	1					○		
		高次神経障害作業療法学	1					○		
		日常生活活動学	1				○			
		社会生活行為学演習	1					○		
		義肢装具学	1					○		
		臨床作業療法演習Ⅰ	2					○		
		臨床作業療法演習Ⅱ	2					○		
		臨床作業療法演習Ⅲ	1					○		
作業療法治療学 計			19					—		
臨床実習		臨床実習Ⅰ（体験実習）	2						○	
		臨床実習Ⅱ（評価実習）	6						○	
		臨床実習Ⅲ（総合実習）	7						○	
		臨床実習Ⅳ（総合実習）	7						○	
		地域作業療法実習	1						○	
臨床実習 計			23					—		
地域療法治療学		地域リハビリテーション論	1				○			
		職業リハビリテーション論	2					○		
		保健医療福祉連携論	1					○		
地域作業療法治療学 計			4					—		
専門展開科目 計			59					—		
特別演習	専門支持科目特別演習			2			○			
	専門展開科目特別演習			2			○			
	特別演習 計			4			—			
専門教育分野 計			90		4		—			
総計			104		4		—			

履修規程別表第一

(こども学科)

科目区分		授業科目の名称	単位数			授業形態		
			必修	選択	自由	講義	演習	実習
教養教育分野	人間と文化	英語Ⅰ	1				○	
		英語Ⅱ	1				○	
		日本語表現法	1				○	
	人間と社会	日本国憲法	2			○		
		現代の社会	1			○		
		法律入門	1			○		
	人間と科学	体育基礎	1			○		
		体育実技	1					○
		情報処理Ⅰ	1				○	
		情報処理Ⅱ	1				○	
		レクリエーション論		1		○		
		数理リテラシー	1			○		
	教養教育分野 計		12	1		—		
専門教育分野	幼児教育の基礎	幼児と環境		2		○		
		幼児と健康		1		○		
		幼児と表現		2		○		
		幼児と人間関係		1		○		
		幼児教育の基礎 計		6		—		
	基礎技能	音楽表現Ⅰ		1			○	
		音楽表現Ⅱ		1			○	
		音楽表現Ⅲ		1			○	
		造形表現		1			○	
		総合表現演習Ⅰ		1			○	
		総合表現演習Ⅱ		1			○	
		基礎技能 計		6		—		
	教育及び保育の本質	教職論	2			○		
		保育原理	2			○		
		教育原理	2			○		
		社会福祉		2		○		
	教育及び保育の本質 計		6	2		—		
	教育及び保育の制度	教育制度論		1		○		
		子ども家庭福祉		2		○		
		社会的養護Ⅰ		2		○		
	教育及び保育の制度 計			5		—		
	教育及び保育の対象理解	子ども理解の理論と方法	1				○	
		生涯発達心理学Ⅰ	2			○		
		生涯発達心理学Ⅱ		2		○		
		乳児保育Ⅰ		2		○		
	教育及び保育の対象理解 計		3	4		—		
	教育及び保育の計画と方法	カリキュラム論	2			○		
		保育内容の指導法（総論）	1				○	
		保育内容の指導法（健康）	1				○	
		保育内容の指導法（人間関係）	1				○	
		保育内容の指導法（環境）	1				○	
		保育内容の指導法（言葉）	1				○	
		保育内容の指導法（表現）	1				○	
		特別支援教育演習Ⅰ	1				○	
		特別支援教育演習Ⅱ		1			○	
		乳児保育Ⅱ		1			○	
		教育相談	1				○	
教育方法論		2			○			
社会的養護Ⅱ			1			○		
子どもの保健			2		○			
子どもの健康と安全			1			○		
家庭支援論			2		○			
子どもの食と栄養			2			○		
子育て支援			1			○		
教育及び保育の計画と方法 計		12	11		—			
総括科目	保育・教職実践演習（幼稚園）		2			○		
	総括科目 計		2		—			
実習	保育実習Ⅰ（保育所）		2				○	
	保育実習Ⅰ（施設）		2				○	
	保育実習指導Ⅰ		2			○		
	保育実習Ⅱ		2				○	
	保育実習指導Ⅱ		1			○		
	保育実習Ⅲ		2				○	
	保育実習指導Ⅲ		1			○		
	教育実習Ⅰ		1				○	
	教育実習指導Ⅰ		1			○		
	教育実習Ⅱ		3				○	
	教育実習指導Ⅱ		1			○		
	実習 計			18		—		
ゼミナール	基礎演習Ⅰ	2				○		
	基礎演習Ⅱ	2				○		
	ゼミナール 計	4			—			
専門教育分野 計		25	54		—			
総計		37	55		—			

履修規程別表第一

(歯科衛生学科)

科目区分		授業科目の名称	単位数			授業形態			
			必修	選択	自由	講義	演習	実習	
教養教育分野	人間と文化	日本語表現法	1				○		
		英語Ⅰ	1				○		
		英語Ⅱ	1				○		
		医療手話	1				○		
	人間と社会	法律入門	1			○			
		現代の社会	1			○			
		コミュニケーション演習	1				○		
	人間と科学	心理学		1		○			
		数理リテラシー	1			○			
		保健統計学	1			○			
		情報処理	1				○		
		化学		1		○			
スポーツレクリエーション			1			○			
教養教育分野 計			10	3		－			
専門教育分野	人体の構造と機能	解剖学	2			○			
		生理学	1			○			
		組織発生学	1			○			
	歯・口腔の構造と機能	口腔解剖学	2			○			
		口腔生理学	2			○			
		歯牙解剖学	1			○			
	疾病の成り立ちと回復	病理学	1			○			
		微生物学	1			○			
		薬理学	1			○			
		栄養学	1			○			
		生化学	1			○			
		一般臨床医学	1			○			
	健康と予防に関わる人間と社会の仕組み	衛生学・公衆衛生学	1			○			
		口腔衛生学	2			○			
		地域保健	2			○			
		衛生行政・社会福祉・社会保障	2			○			
		人間関係論		1		○			
	専門支持科目 計			22	1		－		
	専門展開科目	歯科衛生士概論	歯科衛生士概論	2			○		
		臨床歯科医学	歯内療法学	1			○		
			保存修復学	1			○		
			歯周療法学	1			○		
			歯科補綴学	1			○		
			口腔外科学	1			○		
			歯科矯正学	1			○		
			小児歯科学	1			○		
			高齢者口腔保健学	1			○		
障害者口腔保健学			1			○			
歯科放射線学			1			○			
口腔衛生管理			1			○			
歯科予防処置論		歯科予防処置法	2				○		
		う蝕予防処置法（臨床基礎）	1				○		
		歯周病予防法（臨床基礎）	2				○		
		う蝕予防処置法（臨床応用）	1				○		
		歯周病予防法（臨床応用）	2				○		
		保健指導論	1			○			
歯科保健指導論		保健指導演習Ⅰ（臨床基礎）	1				○		
		保健指導演習Ⅱ（臨床応用）	2				○		
		保健指導演習Ⅲ（臨床総合）	2				○		
		口腔リハビリテーション論	1			○			
		口腔リハビリテーション演習		1			○		
		歯科診療補助法（基礎知識）	2			○			
歯科診療補助論		歯科診療補助演習Ⅰ（基本技術）	2				○		
		歯科診療補助演習Ⅱ（臨床技術）	2				○		
		歯科診療補助演習Ⅲ（臨床総合）	2				○		
		感染予防法	1			○			
		臨床検査法	1				○		
		救急法・救急蘇生法	1			○			
		介護技術の基礎	1			○			
		審美歯科演習		1			○		
		実習	臨地実習Ⅰ（臨床基礎）	4					○
臨地実習Ⅱ（臨床応用）			8					○	
臨地実習指導（臨床応用）			1				○		
臨地実習Ⅲ（臨床総合）			8					○	
臨地実習指導（臨床総合）			1				○		
特別科目		歯科衛生研究法Ⅰ（臨床基礎）		1		○			
		歯科衛生研究法Ⅱ（臨床応用）		1		○			
専門展開科目 計			61	5		－			
総計			93	9		－			

履修規程別表第一

(栄養学科)

科目区分		授業科目の名称	単位数			授業形態			
			必修	選択	自由	講義	演習	実習	
教養教育分野	人間と文化	日本語表現法	1				○		
		英語	1				○		
	人間と社会	現代の社会	2			○			
		法律入門	1			○			
		ビジネスマナー		1		○			
		人間関係論		1		○			
	人間と科学	心理学	1			○			
		情報処理	1				○		
数理リテラシー		1			○				
		生活環境化学		1	○				
教養教育分野 計		8	3			—			
専門教育分野	専門支持科目	食生活論	1			○			
		社会福祉概論	1			○			
		公衆衛生学	2			○			
		生理学	2			○			
		解剖学	1			○			
		微生物学	1			○			
		生化学	2			○			
		生化学実験	1					○	
		医学概論	1			○			
	専門支持科目 計		12				—		
	専門基礎科目	食品学	2			○			
		食品学実験Ⅰ（基礎）	1					○	
		栄養学	2			○			
		栄養学実験	1					○	
		ライフステージ栄養学	2			○			
		ライフステージ栄養学実習	1					○	
		栄養教育論	2			○			
		調理学	2			○			
		調理学実習Ⅰ（基礎）	1					○	
	専門展開科目	給食計画実務論	2			○			
		給食管理実習Ⅰ（基礎）	1					○	
		専門基礎科目 計		17				—	
		食品衛生学	2			○			
		食品衛生学実験	1					○	
		食品加工学	1			○			
		食品学実験Ⅱ（応用）	1					○	
		臨床栄養学	2			○			
		臨床栄養学実習	1					○	
		公衆栄養学概論	2			○			
		栄養教育実習	1					○	
		調理学実習Ⅱ（応用）	1					○	
		給食管理実習Ⅱ（応用）	1					○	
	実践科目	食品とアレルギー	1			○			
		子どもと食育	2			○			
		摂食・嚥下機能と口腔ケア	1			○			
		スポーツと栄養	2			○			
		専門展開科目 計		19				—	
		実践科目	校外実習	1					○
			調理学実習Ⅲ（実践・実験）	1					○
			栄養基礎演習	2				○	
			栄養総合演習	2				○	
	実践科目 計		6				—		
総計		62	3			—			

(観光ビジネス学科)

科目区分		授業科目の名称	単位数			授業形態			
			必修	選択	自由	講義	演習	実習	
教養教育分野	人間と文化	日本語表現法	1				○		
		英語Ⅰ	1				○		
		東北学	2			○			
		歴史と文化	2			○			
	人間と社会	法律入門	2			○			
		現代の社会	2			○			
		コミュニケーション論	2			○			
人間と科学	情報処理	1				○			
	数理リテラシー	1			○				
教養教育分野 計		14				－			
専門教育分野	基礎科目	経営学入門	2			○			
		マーケティング	2			○			
		観光概論	2			○			
		観光ビジネス論	2			○			
		国内観光地理	2			○			
		国際観光論	2			○			
		観光史と観光文化	2			○			
		実践文章作成演習		1				○	
		フィールドワーク概論		2			○		
		金融リテラシー入門		2			○		
	基礎科目 計		14	5			－		
	基幹科目	英語Ⅱ	1					○	
		観光ビジネス英会話	2				○		
		ビジネスマナー	2				○		
		情報機器演習	1					○	
	基幹科目 計		6				－		
	展開科目	旅行ビジネス実務		2			○		
		エアラインビジネス実務		2			○		
		エアラインサービス		2			○		
		鉄道ビジネス実務		2			○		
		宿泊ビジネス実務		2			○		
		ホテル・ブライダルサービス		2			○		
		ホテル経営		2			○		
		ブライダルビジネス実務		2			○		
		ウェディングブライダル演習		1					○
		秘書実務		2			○		
		旅と文学		2			○		
		テーマパークビジネス		2			○		
		旅行業法		2			○		
		旅行業約款		2			○		
		国内運賃・旅費計算		2			○		
		国内観光資源		2			○		
		旅行業務演習		1					○
海外観光地理			2			○			
旅程管理			2			○			
東南アジアの言語と文化			2			○			
韓国語会話Ⅰ			1					○	
韓国語会話Ⅱ			1					○	
中国語会話Ⅰ			1					○	
中国語会話Ⅱ			1					○	
フランス語会話			1					○	
英会話基礎			1					○	
英会話応用			1					○	
観光英語			1					○	
TOEIC演習			1					○	
おもてなし英語			2				○		
観光英語ガイド基礎			2				○		
観光インターンシップ			1						○
海外研修			1					○	
展開科目 計			53			－			
専門教育分野 計		20	58			－			
演習分野	演習科目	基礎キャリア形成ゼミ	1				○		
		実践キャリア形成ゼミ	1				○		
		初年次ゼミ	1				○		
		観光研修Ⅰ	1				○		
		観光研修Ⅱ	1				○		
		観光ゼミⅠ	1				○		
		観光ゼミⅡ	1				○		
		観光ゼミⅢ	1				○		
	演習分野 計		8				－		
総計		42	58			－			

(現代英語学科)

科目区分		授業科目の名称	単位数			授業形態		
			必修	選択	自由	講義	演習	実習
教養教育分野	人間と文化	日本語表現法	1				○	
		World Mythology	2			○		
		歴史と文化	2			○		
	人間と社会	心理学		2		○		
		法律入門	2			○		
		現代の社会	2			○		
	Critical Thinking	2			○			
人間と科学	情報処理	1				○		
	数理リテラシー	1				○		
教養教育分野 計		13	2			—		
専門教育分野	専門基礎科目	Oral Communication I	1				○	
		Oral Communication II	1				○	
		Listening I	1				○	
		Listening II	1				○	
		Reading I	1			○		
		Reading II	1			○		
		Grammar I	1				○	
		Grammar II	1				○	
	専門基礎科目 計		8	0			—	
	専門展開科目	Oral Communication III	2				○	
		Oral Communication IV		2			○	
		Listening III		2			○	
		Listening IV		2			○	
		Reading III		2		○		
		Reading IV		2		○		
		Business Communication	2				○	
		Essay Writing	2				○	
		Business Writing	2				○	
		Speaking Skills I		2			○	
		Speaking Skills II		2			○	
		Extensive Reading		2			○	
		English for Tourism	2				○	
		Chorus English		2			○	
		English through Plays		2			○	
		英米文学概論	2			○		
		英語史概論		2		○		
		Vocabulary Building		2			○	
		Teaching English to Children		2			○	
		British Studies		2			○	
		American Studies		2			○	
		International Studies		2			○	
		海外研修		2				○
	専門展開科目 計		12	34			—	
	関連科目	ビジネスプロトコール	2				○	
		秘書実務		2			○	
		観光ビジネス論		2		○		
		エアラインサービス		2			○	
		フランス語 I		1			○	
		フランス語 II		1			○	
	関連科目 計		2	8			—	
	専門教育分野 計		22	42			—	
演習分野	演習科目	キャリア形成演習 I	1				○	
		キャリア形成演習 II	1				○	
		基礎ゼミ	1				○	
		TOEIC I		1			○	
		STEP I		1			○	
		TOEIC II		1			○	
		STEP II		1			○	
	演習分野 計		3	4			—	
総計		38	48			—		

履修規程別表第一

(言語聴覚学科)

科目区分		授業科目の名称	単位数			講義形態			
			必修	選択	自由	講義	演習	実習	
教養教育分野	人間と文化	人間関係論	2			○			
		英語	1				○		
		日本語表現法	1				○		
		歴史と文化	1			○			
	人間と社会	現代の社会	1			○			
		法律入門	1			○			
		学習の基礎	1			○			
		倫理学	1			○			
	人間と科学	統計と疫学	2			○			
		数理リテラシー	1			○			
		情報処理	1				○		
		自然科学概論	2			○			
	教養教育分野 計			15				-	
	専門教育分野	専門支持科目	人体の仕組み・疾病と治療	医療概論	1			○	
病理学				1			○		
解剖・生理学				1			○		
内科学				1			○		
栄養学				1			○		
臨床神経学				1			○		
小児科学				1			○		
精神医学				1			○		
リハビリテーション医学				1			○		
耳鼻咽喉科学				1			○		
形成外科学				1			○		
臨床歯科医学・口腔外科学				1			○		
呼吸発声発語系の構造・機能・病態				1			○		
聴覚系の構造・機能・病態				1			○		
神経系の構造・機能・病態			1			○			
小 計			15					-	
心の働き			臨床心理学	1			○		
			心理学	1			○		
			生涯発達心理学	1			○		
			聴覚心理学	1			○		
			神経心理学	1			○		
			心理測定法	1			○		
			認知・学習心理学	1			○		
小 計			7					-	
言語とコミュニケーション			言語学	1			○		
			日本語文法学	1			○		
			音声学	1			○		
			音声・言語学総論	1			○		
			音声表記・分析学	1				○	
			音響学	1			○		
			言語発達学	1			○		
			拡大・代替コミュニケーション	1			○		
			視覚言語論	1			○		
			小 計	9					-
社会保障・教育とリハビリテーション			社会保障・教育とリハビリテーション	1			○		
小 計			1					-	
専門展開科目		言語聴覚障害学総論	言語聴覚障害学総論	2			○		
		小 計	2					-	
		言語聴覚療法管理学	言語聴覚療法管理学Ⅰ	1			○		
			言語聴覚療法管理学Ⅱ	1			○		
		小 計	2					-	
		失語・高次脳機能障害学	失語症概論	2			○		
			高次脳機能障害学	1			○		
			言語聴覚障害診断学	1			○		
			失語症・高次脳機能障害	2				○	
		小 計	6					-	
		言語発達障害学	言語発達障害総論	2				○	
			言語発達障害評価学	1			○		
			小児の構音障害	1			○		
			脳性麻痺	1			○		
	学習障害・発達障害		1			○			
	小 計	6					-		
	発声発語・摂食嚥下障害学	音声障害	2			○			
		吃音概論	1			○			
		運動障害性構音障害Ⅰ	1			○			
		運動障害性構音障害Ⅱ	2				○		
		摂食嚥下障害Ⅰ	1			○			
		摂食嚥下障害Ⅱ	2				○		
	小 計	9					-		
	聴覚障害学	成人・小児の聴覚障害	1			○			
		聴能・発語訓練演習	1				○		
		聴力検査Ⅰ	1				○		
		聴力検査Ⅱ	1				○		
		視覚聴覚二重障害・重複障害	1			○			
		補聴器・人工内耳	1			○			
		聴覚障害学総論	1			○			
		小 計	7					-	
	地域言語聴覚療法学	地域言語聴覚療法学Ⅰ	1			○			
地域言語聴覚療法学Ⅱ		1			○				
小 計	2					-			
臨床実習	臨床実習Ⅰ（見学実習）	1					○		
	臨床実習Ⅱ（評価実習）	4					○		
	臨床能力評価実習	1					○		
	臨床実習Ⅲ（総合実習前期）	4					○		
	臨床実習Ⅳ（総合実習後期）	5					○		
	小 計	15					-		
専門独自科目	医療英会話と英文抄読		1		○				
	手話		1			○			
	言語聴覚障害学特別講義Ⅰ		1		○				
	言語聴覚障害学特別講義Ⅱ		1		○				
	音と聴力	1			○				
	運動生理学の基礎	2			○				
	言語聴覚障害学の基礎	2			○				
	小 計	5	4				-		
専門教育分野 計			86	4			-		
総 計			101	4			-		

履修規程別表第一

(救急救命学科)

科目区分		授業科目の名称	単位数			授業形態				
			必修	選択	自由	講義	演習	実習		
教養教育分野	人間と文化	日本語表現法	1				○			
		英語	1				○			
	人間と社会	現代の社会	2			○				
		法律入門	2			○				
	人間と科学	情報処理	1				○			
		数理リテラシー	1				○			
教養教育分野 計			8				-			
専門教育分野	専門基礎科目	人体の構造と機能	解剖生理学	1			○			
			人体構造と機能Ⅰ	1			○			
			人体構造と機能Ⅱ	1			○			
			人体構造と機能Ⅲ	1			○			
		疾患の成り立ちと回復の過程	薬理学	1			○			
			病理学	1			○			
			微生物学	1			○			
			法医学	1			○			
		健康と社会保障	社会保障論	1			○			
			地域福祉論	1			○			
		専門基礎科目 計			10				-	
		専門展開科目	救急医学概論	医学概論	1			○		
				救急救命医療概論	2			○		
				救急救命処置概論	2			○		
	感染症と災害医療			1			○			
	救急症候・病態生理学		救急病態生理学	2			○			
			救急症候学Ⅰ	2			○			
			救急症候学Ⅱ	2			○			
			救急症候学Ⅲ	2			○			
	疾病救急医学		疾病救急医学Ⅰ	2			○			
			疾病救急医学Ⅱ	2			○			
			疾病救急医学Ⅲ	2			○			
			疾病救急医学Ⅳ	2			○			
	外傷救急医学		外傷学Ⅰ	2			○			
			外傷学Ⅱ	2			○			
	環境障害・急性中毒学		環境障害・急性中毒学	1			○			
	臨地実習		救急救命シミュレーションⅠ	5					○	
			救急救命シミュレーションⅡ	5					○	
			救急救命シミュレーションⅢ	5					○	
		救急救命シミュレーションⅣ	5					○		
		臨床実習	4						○	
		救急用自動車同乗実習	1						○	
専門展開科目 計			52				-			
総計			70				-			

履修規程別表第二

厚生労働省告示による科目				こども学科 開設科目			保育士資格 取得時の 履修方法
系列	教科目	授業 形態	単位数	教科目	授業 形態	単位数	
教養科目	外国語	演習	2 以上	英語Ⅰ	演習	1	全て履修する
	体育	講義	1	英語Ⅱ	演習	1	
	体育	実技	1	体育基礎	講義	1	
	その他		6 以上	体育実技	実技	1	
				日本語表現法	演習	1	
				情報処理Ⅰ	演習	1	
				情報処理Ⅱ	演習	1	
				法律入門	講義	1	
				現代の社会	講義	1	
				数理リテラシー	講義	1	
教養科目		計	10 以上	教養科目		計	10
保育の本質・目的 に関する科目	保育原理	講義	2	保育原理	講義	2	全て履修する
	教育原理	講義	2	教育原理	講義	2	
	子ども家庭福祉	講義	2	子ども家庭福祉	講義	2	
	社会福祉	講義	2	社会福祉	講義	2	
	子ども家庭支援論	講義	2	家庭支援論	講義	2	
	社会的養護Ⅰ	講義	2	社会的養護Ⅰ	講義	2	
	保育者論	講義	2	教職論	講義	2	
		計	14		計	14	
保育の対象の理 解に関する科目	保育の心理学	講義	2	生涯発達心理学Ⅰ	講義	2	全て履修する
	子ども家庭支援の心理学	講義	2	生涯発達心理学Ⅱ	講義	2	
	子どもの理解と援助	演習	1	子どもの理解の理論と方法	演習	1	
	子どもの保健	講義	2	子どもの保健	講義	2	
	子どもの食と栄養	演習	2	子どもの食と栄養	演習	2	
		計	9		計	9	
保育の内容・方法 に関する科目	保育の計画と評価	講義	2	カリキュラム論	講義	2	全て履修する
	保育内容総論	演習	1	保育内容の指導法（総論）	演習	1	
	保育内容演習	演習	5	保育内容の指導法（健康）	演習	1	
				保育内容の指導法（人間関係）	演習	1	
				保育内容の指導法（環境）	演習	1	
				保育内容の指導法（言葉）	演習	1	
				保育内容の指導法（表現）	演習	1	
	保育内容の理解と方法	演習	4	総合表現演習Ⅰ	演習	1	
				総合表現演習Ⅱ	演習	1	
				音楽表現Ⅰ	演習	1	
				造形表現	演習	1	
	乳児保育Ⅰ	講義	2	乳児保育Ⅰ	講義	2	
	乳児保育Ⅱ	演習	1	乳児保育Ⅱ	演習	1	
	子どもの健康と安全	演習	1	子どもの健康と安全	演習	1	
	障害児保育	演習	2	特別支援教育演習Ⅰ	演習	1	
				特別支援教育演習Ⅱ	演習	1	
	社会的養護Ⅱ	演習	1	社会的養護Ⅱ	演習	1	
	子育て支援	演習	1	子育て支援	演習	1	
		計	20		計	20	
保育実習	保育実習Ⅰ	実習	4	保育実習Ⅰ（保育所）	実習	2	全て履修する
				保育実習Ⅰ（施設）	実習	2	
	保育実習指導Ⅰ	演習	2	保育実習指導Ⅰ	演習	2	
			計		計	6	
総合演習	保育実践演習	演習	2	保育・教職実践演習（幼稚園）	演習	2	履修する
	必修科目	計	51	必修科目	計	51	
選択必修科目	保育に関する科目 （上記の系列に より科目設定）		15 以上	幼児と表現	講義	2	保育実習Ⅱと 保育実習指導Ⅱ 又は保育実習Ⅲと 保育実習指導Ⅲと を含む9単位以上 選択して履修する
				幼児と人間関係	講義	1	
				幼児と健康	講義	1	
				幼児と環境	講義	2	
				教育方法論	講義	2	
				教育制度論	講義	1	
				レクリエーション論	講義	1	
				日本国憲法	講義	2	
				教育相談	演習	1	
				音楽表現Ⅱ	演習	1	
				音楽表現Ⅲ	演習	1	
	保育実習Ⅱ	実習	2	保育実習Ⅱ	実習	2	
	又は保育実習Ⅲ			保育実習Ⅲ	実習	2	
	保育実習指導Ⅱ	演習	1	保育実習指導Ⅱ	演習	1	
	又は保育実習指導Ⅲ			保育実習指導Ⅲ	演習	1	
	選択必修科目	計	18 以上	選択必修科目	計	21	
	※18単位以上開設						
	保育士79単位	合計	79 以上	保育士	合計	82	

履修規程別表第三

法令上の規定				こども学科開設		幼稚園教諭二種免許状取得時の履修方法			
法令による規定科目		右項の各科目に含めることが必要な事項	単位数	教科目	単位数	必修	選択	備考	
教育職員免許法施行規則第66条の6 で特に必要なものとして定める科目		日本国憲法	2	日本国憲法	2	2			
		体育	2	体育基礎	1	1			
	体育実技			1	1				
		外国語コミュニケーション	2	英語Ⅰ	1	1			
	英語Ⅱ			1	1				
		情報機器の操作	2	情報処理Ⅰ	1	1			
	情報処理Ⅱ			1	1				
計			8	計	8	8	－		
第1欄 教科及び 教職に関 する科目	第2欄 領域及び保育内容の指 導法に関する科目	領域に関する専門的事項	12	幼児と環境	2	2			
				幼児と健康	1	1			
				幼児と表現	2	2			
				幼児と人間関係	1	1			
		保育内容の指導法（情報機器及び 教材の活用を含む。）		保育内容の指導法（総論）	1	1			
				保育内容の指導法（健康）	1	1			
				保育内容の指導法（人間関係）	1	1			
				保育内容の指導法（環境）	1	1			
				保育内容の指導法（言葉）	1	1			
				保育内容の指導法（表現）	1	1			
		計		12	計	12	12		
	第3欄 教育の基礎的理解に関 する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び 思想 教職の意義及び教員の役割・職務内容 （チーム学校運営への対応を含む。） 教育に関する社会的、制度的又は経営 的事項（学校と地域との連携及び学校 安全への対応を含む。） 幼児、児童及び生徒の心身の発達及び 学習の過程 特別の支援を必要とする幼児、児童及び 生徒に対する理解 教育課程の意義及び編成の方法（カリ キュラム・マネジメントを含む。）	6	教育原理	2	2			
				教職論	2	2			
				教育制度論	1	1			
				生涯発達心理学Ⅰ	2	2			
				特別支援教育演習Ⅰ	1	1			
				カリキュラム論	2	2			
	計			6	計	10	10		
	第4欄 道徳、総合的な学習の 時間等の指導法及び生 徒指導、教育相談等に 関する科目	教育の方法及び技術（情報機器及び教材 の活用を含む。） 幼児理解の理論及び方法 教育相談（カウンセリングに関する基礎 的な知識を含む。）の理論及び方法	4	教育方法論	2	2			
				子ども理解の理論と方法	1	1			
				教育相談	1	1			
	計			4	計	4	4		
	第5欄 教育実践に関する科目	教育実習	5	教育実習指導Ⅰ	1	1			
				教育実習Ⅰ	1	1			
				教育実習指導Ⅱ	1	1			
				教育実習Ⅱ	3	3			
			学校体験活動						
			教職実践演習	2	保育・教職実践演習（幼稚園）	2	2		
計			7		8	8			
第6欄	大学が独自に設定する 科目		2		－	－		第2～5欄で2単位以上開設して いるため独自科目開設せず	
計			31	計	34	34	－		

履修規程別表第四

栄養士法施行規則			栄養学科開設				
教育内容	単位数		授業科目名	単位数			
	講義又は演習	実験又は実習		講義又は演習	実験又は実習		
社会生活と健康	4	4	公衆衛生学	2			
			社会福祉概論	1			
			食生活論	1			
			小計	4	0		
人体の構造と機能	8		解剖学	1			
			生理学	2			
			生化学	2			
			生化学実験		1		
			微生物学	1			
			医学概論	1			
			摂食・嚥下機能と口腔ケア	1			
			小計	8	1		
			食品と衛生	6	食品学	2	
					食品学実験Ⅰ（基礎）		1
食品学実験Ⅱ（応用）					1		
食品衛生学	2						
食品衛生学実験					1		
食品加工学	1						
食品とアレルギー	1						
小計	6				3		
栄養と健康	8	栄養学	2				
		栄養学実験		1			
		ライフステージ栄養学	2				
		ライフステージ栄養学実習		1			
		臨床栄養学	2				
		臨床栄養学実習		1			
		スポーツと栄養	2				
		小計	8	3			
栄養の指導	6	栄養教育論	2				
		栄養教育実習		1			
		公衆栄養学概論	2				
		子どもと食育	2				
		小計	6	1			
		給食の運営	4	調理学	2		
調理学実習Ⅰ（基礎）				1			
調理学実習Ⅱ（応用）				1			
調理学実習Ⅲ（実践・実験）				1			
給食計画実務論	2						
給食管理実習Ⅰ（基礎）				1			
給食管理実習Ⅱ（応用）				1			
校外実習				1			
小計	4			6			
合計	36	14	合計	36	14		